	区分									+0	火部にかける取名の十点性			ネ ソナフ町左の車業		3,100 +12,7321	四十とも・ナ育(会議用資料
	1 1		lo.	重要事項	No.	施策	Nº	取組	所管課	計画での	当課における取組の方向性			該当する既存の事業		ı	新規の事業
1 ライ 事項	│ No. ^{ライフスキ} フステージを通した重		権る	ども・若者が 利の主体であ ことの社会全 での共有等	1)	こどもの権利等の啓 発の推進	1	こども・若者へのこども基本 法の周知	学校教育課	方向性	1.5	有	各校の人権教 育全体計画及	内容 各校の実態に合わせ、人権教育の目標や方針を明 確にすることで、学校全体の一貫性の確保や効果 的な取組の実現を目指す。	無無	事業名	内容
													者研修会への 参加	静岡県教育委員会が主催する研修に各校の人権教 育担当者が参加し、人権教育とその指導方法につ いて理解を深める。また、自校の人権教育の充 実と改善に向けた実践力を高める。			
									地域福祉課	積極的に推 進する		有	人権教室	こどもがいじめや人種差別等の人権問題について 学び、自分も相手も大切にする気持ちを養うた め、市内幼・保・こども園、小・中学校で人権教 室を実施する。			
									こども政策 課	積極的に推 進する	こども基本法やこどもの権利など について、理解促進を進める	無			有	出前講座	こども基本法やこどもの権利に関する出前講座を新たにメニュー化し、 こども基本法の理念の遡及を図る
1 ライ 事項	フステージを通した重	要(権る	利の主体であ ことの社会全	1)	こどもの権利等の啓 発の推進	2	大人への人権啓発活動の推進	地域福祉課	積極的に推 進する		有	人権啓発活動	人権に対する認知度及び意識向上のため、啓発品 の配布を実施する。	無		
				での共有等									人権教室	こどもが一人の人間として最大限に尊重されるよう、保護者を対象とした人権教室を実施する。			
1 ライ 事項	フステージを通した重	要 (権る	ども・若者が 利の主体であ ことの社会全 での共有等	1)	こどもの権利等の啓 発の推進	3	こども基本法やこどもの権利 に関する社会気運の醸成	こども政策課		こども基本法やこどもの権利に関する情報提供を推進する。	無			有	出前講座	こども基本法やこどもの権利に関する出前講座を新たにメニュー化し、 こども基本法の理念の遡及を図る。
									地域福祉課	積極的に推 進する		有	人権教室	注に幼児や小・中学生に対して行っているもの。 人権教室は教室参加者の年齢に応じて「いじめ」 や「差別」について、考えることができるものと なっている。自分を含め、周りの人々の人権は守 るべきものであることを学べる。			
1 ライ 事項	フステージを通した重	要(2	験	様な遊びや体 、活躍できる 会づくり		遊びや体験活動の推 進、生活習慣の形 成・定着	4	こどもの遊び場や交流機会の 創出	土木課	積極的に推 進する		有	公園の管理・ 整備	樹木の維持管理、維持管理委託、遊具・トイレ・ 照明灯等の修繕・更新、芝生植生など	無		
									産業振興課	積極的に推 進する		有	モノづくり人 材の育成	企業見学や職場体験、出前授業などを実施	無		
									文化観光課		2025年に湖西市教育振興基本計画 が更新時期であるので、個別施設 の施策でなく、社会教育、生涯学 習の中で、方向性を検討する必要 がある。	有	新居関所史料 館ワーク ショップ	社会教育と学校教育を連携させた取組(新居関所 DE学習プラン)を実施。 企画展ごとに体験ワークショップを開催し、体験 学習の機会を提供。			
									スポーツ・生涯学習課	計画期間中 に方向性を 検討		有	わくわく子ど も教室	放課後を安全・安心に過ごし各種体験活動を提供 できるよう、わくわく子ども教室を市内小学校全 校(6校)で実施している。 また、放課後児童クラブと連携型の実施により、 事業の充実に努めている。	無		
1 ライ 事項	フステージを通した重	要(2	験	様な遊びや体 、活躍できる 会づくり	1)	遊びや体験活動の推 進、生活習慣の形 成・定着	5	こどもの読書活動の充実	図書館	積極的に推 進する		有	ト事業	6か月児とその保護者を対象に、絵本を介して親子でふれあうことの大切さを伝え、継続して本と親しんでもらえるよう働きかける。			
													のイベント開 催	定例的なおはなし会や季節に合わせたイベントを 開催し、子どもたちが図書館に来館する機会をつ くり、読書への関心を高める。 学校司書4名が市内小中学校を訪問し、学校図書			
1 = /	ファニーご 左通し ナ 毛	III 1/2	\ \ \ \ \	揺れがれるかけ	1)	遊びや体験活動の推		基本的な生活習慣や道徳・モ				無	援	字校の青4名が同内が中子校を訪问し、子校図青館の支援を行う。団体貸出を実施し、授業支援や 読書環境の充実を図る。	無		
事項	ノステージを通じだ里	Φ (2	験	様な遊びや体 、活躍できる 会づくり		遊びや体験活動の推 進、生活習慣の形 成・定着	6	基本的な主活音慣や道徳・モラル等の定着	田			mt.			***		

1

	区分		No.	重要事項	No.	施策	Nº	取組	所管課	担	当課における取組の方向性			該当する既存の事業			新規の事業
		No. ライフステ		・ 主 メナス	110.	BOX		47411	771604	計画での方向性	内容	有無	事業名	内容	有無	事業名	内容
1 ラ· 事項	イフステージ	を通した重	要 (2)	多様な遊びや体験、活躍できる機会づくり	2)	こどもまんなかまち づくり	7	子育てにやさしい住まいの拡 充		積極的に推 進する		有	事業者および発言を担け、	・土地提供者に対し、1人最大200万円 ・宅地開発事業者に対し、1事業につき最大1, 000万円 <狙い>職任近接による、持続可能な集約・連携 型のまちづくりへ ・まちなかにある未利用地を活用して宅地、賃貸 住宅の増加を促進 ・子育て世代定住のきっかけづくり			賃貸住宅の建築促進のために奨励金を創設 を創設 たりの延れ床面積 によりの延れ床面積 に応じて奨励金 (上限あり)・特に子育で世帯向けの賃貸住宅建築を奨励 くる狙い>職住近接による、持続可能 な集約・連携型のまちづくりへ・まちなかにある未利用地を活用して宅地、賃貸住宅の増加を促生・子育て世代定住のきっかけづくり
									建築住宅課	積極的に推 進する		有	市営住宅の供給	子育て世帯の住宅確保要配慮者に対して、住宅確 保の環境を整備する。	無		
1 ラ [・] 事項	イフステージ	を通した重	要 (2)	多様な遊びや体験、活躍できる 機会づくり	3)	こども・若者が活躍 できる機会づくり	9	国際交流や多文化共生の推進	学校教育課	積極的に推 進する		有		「生きた英語教育」を推進するために4名のALTを配置し、外国語によるコミュニケーション能力の育成するとともに異文化や多様な価値観への理解を図る。 外国人児童生徒の日本語習得や学習の支援を行っ			
													徒支援	たり、保護者との連絡をスムーズに行えるように 通訳や翻訳などを行ったりすることで、支援を図 る。			
													道徳教育の推進	特別の教科「道徳」において、「伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度」や「国際理解、国際親善」の項目を扱う。また、静岡県教育委員会主催の「道徳教育研修会」への参加等を通じて、道徳教育の充実を図る。			
									市民課	(位直付け	こども大綱に掲載の「こども、若 者が一教養教育」までは学校が会 東が担当になります(は学校か多文 化共生推進アランにおいて、教の 化共生推進ア理解が関連と位 推進の担当は学歴の派遣・受 けています)。留学生の派遣・派 造事業も実施予定はありません。 遣事業も実施予定はありません。	無			無		
1 ライ 事項	イフステージ	を通した重要	更 (2)	多様な遊びや体験、活躍できる 機会づくり		こども・若者が活躍 できる機会づくり	10	持続可能な開発のための教育 (ESD)推進	学校教育課	計画期間中 に方向性を 検討	ESDを各小中学校の教育課程に取り 組むことが可能か、または現状の 教育課程との関連性を確認	無			無		
1 ライ 事項	(フステージ	を通した重要	更 (2)	多様な遊びや体験、活躍できる 機会づくり		こども・若者が活躍 できる機会づくり	11	STEAM教育等の推進	産業振興課	積極的に推 進する		有	モノづくり人 材の育成	プログラミング講座の実施	無		
									学校教育課	計画期間中 に方向性を 検討	現状の教育課程にどう組み込むの か、すでに実践されているのか確 認する。	無			無		
									生涯学習課	計画期間中 に方向性を 検討		有	湖西少年少女 発明クラブ	ものづくりを通して考える力・工夫する力を養い、創造力豊かな子どもたちを育成するため、企業と共に財政的な支援をしている。			
1 ライ 事項	イフステージ [:]	を通した重要	要 (2)	多様な遊びや体験、活躍できる 機会づくり		こども・若者が活躍 できる機会づくり		特定分野に特異な才能のある こども・若者の特異な才能の 育成	国			無			無		
1 ラ· 事項	イフステージ	を通した重	要 (2)	多様な遊びや体験、活躍できる機会づくり	3)	こども・若者が活躍 できる機会づくり	13	外国にルーツのあるこどもへ の支援	学校教育課	積極的に推 進する		有	を持つ子ども に対する支援 体制の充実	編入する児童生徒の初期指導や授業支援、教育相談、保護者への支援を行う指導員や通訳員の派遣する。 音声翻訳機(ポケトーク)を学校へ貸し出し、学校生活への適応を支援する。 新学齢や編入する児童生徒に対して、国際交流協会が行うプレスクール事業(初期支援)を紹介し、受講を促す。 日本語の習得を支援しながら日本の学校生活について学ぶ機会を提供する。			
									市民課	積極的に推 進する	外国人市民の子どもの教育環境の 整備	有	支援	こどもの日本語教室を開催し外国人市民のこどもが日本語を学べる機会を提供する。 編入する外国人児童生徒に対するプレスクール事業を実施し、日本語の習得を支援しながら日本の学校生活や文化について学ぶ機会を提供する。			

	区分									担	当課における取組の方向性			該当する既存の事業			新規の事業
	No.	ライフステージ	No.	重要事項	No.	施策	Nº	取組	所管課	計画での	内容	有無	事業名	内容	有無	事業名	内容
ライフ 事項	ステージを)	通した重要		多様な遊びや体 験、活躍できる 機 会 づくり		こども・若者の可能 性を広げていくため のジェンダーギャッ プの解消	14	男女平等の理念推進のための 教育・学習の充実	学校教育課	方向性 積極的に推 進する		有	による人権教 室の実施	人権擁護委員による人権教室を実施し、男女共同 参画を含めて人権に関わる事例を幅広く扱い、人 権尊重に対する児童生徒の意識向上を図る。			
													共同参画について学ぶ機会	社会科では、主に中学公民で法律の面から、家庭 科では、家事の分担、子肯て公家庭生活の面から、遺徳では、性別にとらわれず自身の思いに応 じて自由に自分の人生を選択するという心情を育 てるという面から、など様々な機会をとらえて、 男女共同参画について学ぶ機会を設ける。			
									市民課	積極的に推 進する	家庭・職場・地域・教育などの場 面での制度や慣行の見直し	有	の視点に立っ	男女平等や性に対する意識の教育など、男女共同 参画の視点に立った教育をライフステージに合わ せて実施する。	無		
ライフ 野項	ステージを)	通した重要		多様な遊びや体 験、活躍できる 機会づくり		こども・若者の可能 性を広げていくため のジェンダーギャッ プの解消	15	性的指向やジェンダーアイデ ンティティの理解促進	市民課	積極的に推 進する	性の多様性に関する理解・取組の 促進	有	どに関する啓 発の実施、情 報や学びの場 の提供	ウェブなどを用いて市民が性の多様性に関する理解を深める情報発信を行う。			
													性の多様性な どに寄り添っ た取組の推進	パートナシップ・ファミリーシップ制度などをは じめとする制度や行政サービスを拡充するなど、 性の多様性などに寄り添った取組を行う。			
ライフ 事項	ステージを)	通した重要		多様な遊びや体 験、活躍できる 機会づくり		こども・若者の可能 性を広げていくため のジェンダーギャッ プの解消		教職員への男女共同参画研修 の実施		に方向性を 検討		有	ムや教材及び	文部科学省より提供された、男女共同参画を推進 するための教員向けの研修プログラムや、小・中 学生を対象にした教材及び指導の手引き等を各校 に配布し、周知啓発を推進する。			
ライフ 項	ステージを)	通した重要	1-7	多様な遊びや体 験、活躍できる 機会づくり		こども・若者の可能 性を広げていくため のジェンダーギャッ プの解消	17	女子中高生の理工系分野への 興味・関心喚起	学校教育課	計画期間中 に方向性を 検討	理工系分野への興味・関心をさら に高める手立てをものづくり推進 室等と連携し、検討する。	有	市内各企業との連携	市内各企業と連携し、ものづくりへの興味・関心 を高めるための活動を実施する。	無		
ライフ 項	ステージを)	通した重要		多様な遊びや体 験、活躍できる 機会づくり		こども・若者の可能 性を広げていくため のジェンダーギャッ プの解消	18	固定的な性別役割分担意識の 解消	市民課	積極的に推 進する	家庭・職場・地域・教育などの場面での制度や慣行の見直し	有		市民があらゆる場面での男女共同参画に対する意 識を持てるよう、男女共同参画週間での講演会の 実施や定期的なセミナーを開催する。			
ライフ 項	ステージを)	通した重要		こどもや若者へ の切れ目のない 保健・医療の提 供		プレコンセプション ケアを含む成育医療 等に関する研究や相 談支援等		性や妊娠に関する正しい知識 の定着と特定妊婦への切れ目 ない支援	こども未来 課	計画期間中 に方向性を 検討		有	向けての相談	母子健康手帳の交付時に妊婦に対して健康相談を 行う。また妊娠中期の妊婦に対してアンケートを 実施して妊娠期の心配ごとを把握したり妊娠期パ パママ講座で出産に向けての講話を行う 乳児全戸訪問で産後の健康管理を実施する			
													理	北元主戸副内で住後の健康昌珪で天地する 			
									健康増進課		妊娠前からの教育についてどう取り組むか関係課間での検討が必要	無			無		
ライフ 耳	ステージを)	通した重要		こどもや若者へ の切れ目のない 保健・医療の提 供		プレコンセプション ケアを含む成育医療 等に関する研究や相 談支援等	20	フェムテックの利活用支援	国	***		無			無		
ライフ I項	ステージを)	通した重要		こどもや若者へ の切れ目のない 保健・医療の提 供		プレコンセプション ケアを含む成育医療 等に関する研究や相 談支援等	21	成育医療等に関する研究・相 談支援・人材育成	国			無			無		
ライフ 項	ステージを)	通した重要		こどもや若者へ の切れ目のない 保健・医療の提 供		プレコンセプション ケアを含む成育医療 等に関する研究や相 談支援等	22	健やか親子21の推進	国			無			無		
ライフ 項	ステージを)	通した重要		こどもや若者へ の切れ目のない 保健・医療の提 供		プレコンセプション ケアを含む成育医療 等に関する研究や相 談支援等		母子保健やこどもの健診等情 報のデジタル化	課	計画期間中 に方向性を 検討		有	母子保健事業 や予防接種事 業の標準化	健康管理システム標準化を推進している	無		
ライフ 事項	ステージを)	通した重要		こどもや若者へ の切れ目のない 保健・医療の提 供		慢性疾病・難病を抱 えるこども・若者へ の支援	24	慢性疾病や難病のこども等へ の支援	国			無			無		

	区分		No.	重要事項	No.	施策	Nº	取組	所管課	担	当課における取組の方向性			該当する既存の事業			新規の事業
	No. 51	フステージ								計画での 方向性	内容	有無	事業名	内容	有無	事業名	内容
1 ライ 事項	フステージを通した	を重要	(4)	こどもの貧困対 策		こどもの貧困解消に 向けた支援	25	関係機関の連携による教育支 援の推進	学校教育課	積極的に推 進する		有	シャルワー	県費で配置されている2名のスクールソーシャル ワーカーが、静岡県教育委員会が主催する研修会 に積極的に参加し、力量向上に努める。	無		
									こども政策 課	積極的に推 進する	こども・若者支援地域協議会の設置について検討する。	無	_		無		
									こども未来課	積極的に推 進する		有	要保護児童対 策地域協議会 の実施	要保護・要支援児童及び特定妊婦の早期発見、保 護及び適切な支援を図ることを目的として、関係 機関のネットワークを構築する。	無		
ライ I項	フステージを通した	を重要	(4)	こどもの貧困対 策		こどもの貧困解消に 向けた支援	26	生活の安定に資するための相 談支援等の推進	地域福祉課	計画期間中 に方向性を 検討		有	立相談支援事 業	生活保護に至る前の段階の生活困窮者に対して、 就労支援等の包括的な支援を行い、早期の経済的 自立を図る。 ひきこもり状態にある当事者及びその家族等に対]		
													談	し、相談を実施し自立に必要な方策を提案する。			
									こども政策課		貧困の状況にあるこども・若者や 子育て当事者への対策について検 討する。	有	ひとり親相談	ひとり親家庭に対する支援制度について相談を受ける。	無		
ライ 項	フステージを通した	を重要	(4)	こどもの貧困対 策		こどもの貧困解消に 向けた支援	27	保護者の就労支援による経済 支援の推進	産業振興課	積極的に推 進する		有	女性の再就職 支援事業	勤労意欲を持つ求職者を対象に、再就職に必要な ノウハウ、知識、スキルの習得機会を提供することで、再就職に係る不安や悩みを解消し、再就職 を支援する。			
									産業振興課	積極的に推 進する		有		共催で就労支援セミナーを開催。また、各機関が 主催するセミナーの啓発を相互に実施。	無		
									こども政策課	積極的に推 進する	各種経済的支援制度の利用を促進 し、経済的支援の効果を高める。	有	自立支援教育訓練給付金	ー定条件を満たしたひとり親が雇用保険制度の教育訓練給付の指定講座を受講する場合に給付金を支給する。			
													高等職業訓練 促進給付金	一定条件を満たしたひとり親が資格取得のための 養成機関に修業する場合に給付金を支給する。)		
													交通遺児等福 祉手当	交通事故によって遺児などになった児童等の健全 な育成と福祉の増進を図るため、遺児等を扶養し ている人に手当を支給する。	,		
ライ 頃	フステージを通した	を重要	(4)	こどもの貧困対 策		こどもの貧困解消に 向けた支援	28	就学援助、修学支援による教育費負担の軽減	教育総務課	積極的に推 進する		有	就学援助	経済的な理由によって就学困難と認められる湖西 市立の小中学校に在籍中の児童生徒保護者に対し て、学用品、給食費などの就学に対する経費の一 部を市が援助し、経済的な負担を軽減する。	,		
									幼児教育課	て位置付け	幼児教育(3歳以上児)について は、国の法制度上、無償化されて おり、市独自に行う教育費負担の 軽減はない。給食費は実費徴収で あり、低所得世帯には、国の法制 度上減免が適用されるため、市独 自の負担軽減策は考えていない。	無			無		
									こども政策課	積極的に推 進する	将来の貧困の予防や、教育の機会 均等を保障するための経済的支援 策について、着実に実施する。	有		第3子以降の子が対象の中学・高校等に入学する際の修学費用を支援する。	無		
													修学支援事業 費助成金	ひとり親家庭のうち、一定要件を満たす人が購入 するランドセルの費用を申請に基づいて助成す る。			
													金	母子家庭のこどもが高校等に通学している世帯に 奨学金を支給し、経済的負担の軽減を図る。			
									課	積極的に推 進する		有		要保護・要支援児童及び特定妊婦の早期発見、保 護及び適切な支援を図ることを目的として、関係 機関のネットワークを構築する。			
ライ 項	フステージを通した	き重要	(4)	こどもの貧困対 策		こどもの貧困解消に 向けた支援	29	こどもの貧困に対する社会の 理解促進	こども政策 課	計画期間中 に方向性を 検討	市内で生じているこどもの貧困問題の実情を調査・分析・把握し、 市の現状に見合った規模の周知・ 理解促進に努める。	無			無		
									こども未来 課	計画期間中 に方向性を 検討	今後関係機関等と連携し方法を探						

	区分			*****	N.	++		TP://D	TC 445-288	担	当課における取組の方向性			該当する既存の事業			新規の事業
	L	0. ライフステージ	No.	重要事項	No.	施策	Nº	取組	所管課	計画での	内容	有無	事業名	内容	有無	事業名	内容
1 ラ· 事項	フステージを	通した重要	(5)	障害児支援・医療的ケア児等へ の支援		障害者理解の促進と 生活基盤整備	30	障害者理解の促進と生活基盤 整備	地域福祉課	方向性 積極的に推 進する			自立支援給付		有	基幹相談支援 センターの設 置	①地域の相談支援事業者に対する訪問等による専門的な指導、助言 ②地域の相談支援事業者の人材育成 支援(研修・受入れ) ③地域の相談機関との連携会議の開催 《戦存の社会資源の改善又は新たな 社会資源の開発に向けた取組
													地域生活支援 事業	障害者総合支援法に基づき、障害児が、自立した 日常生活・社会生活を営むことができるために必 要な、福祉サービスに係る給付を行う。			
													小児慢性特定 疾病児童等日 常生活用具給	小児慢性特定疾病児童等に対し、特殊寝台等の日 常生活用具の給付を行う。			
													手当	精神又は身体に障害を有する児童について、その 保護者に特別児童扶養手当を、精神又は身体に重 度の障害を有する児童に障害児福祉手当を支給			
													相談支援事業	障害者相談支援センターにおいて、障害児、その 保護者又は障害児の介護を行う者からの相談に応 じ、必要な情報の提供及び助言を行う。			
														①創作活動及び生産活動の機会の提供 ②障害に対する理解促進を図るための普及啓発等			
														障害者等の福祉の向上を目的とする活動を行う団体に対し、障害者団体活動事業費補助金を交付			
													福祉制度の周 知と利用促進	障害福祉のしおりの改定・充実			
									幼児教育課	積極的に推 進する			障がい児保育 の整備	関係機関と連絡を密にし、支援に努める。また、 継続して相談・支援が受けられるよう、他機関と の連携を維持する。			
									こども政策課		重層的支援体制整備の中で、体制 の一角として役割を担っていく。	無			無		
									こども未来課	計画期間中 に方向性を 検討	発達に特性のある子どもの支援	有	親子ふれあい 教室	発達に課題がある児とその保護者を対象に親子遊びや課題遊び、学習会などを実施。	無		
										計画期間中 に方向性を 検討	保育所等におけるインクルージョンの推進		発達相談(支援 者向け)	市内各園の保育士等を対象に、保育士・保健師・ 心理士による児の見立てや支援に関する相談を実 施。			
										計画期間中 に方向性を 検討		有	インクルーシ ブ教育	障害のある、発達に遅れのある児童が差別的な扱いを受けないよう人権教育を実施		相談・指導体 制の整備	①園・学校訪問等により、適正な学習指導を実施 ②一人ひとりに合った進路が選択できるよう、関係機関との連携を強化と指導の充実
1 ライ 事項	フステージを	通した重要	(5)	障害児支援・医 療的ケア児等へ の支援		障害のあるこども・ 若者の自立と社会参 加の促進支援	32	医療的ケア児、聴覚障害児などへの支援・連携体制の強化	幼児教育課	積極的に推 進する		無			有	医療的ケア児 保育	公立こども園1園をモデルに指定し、施設・備品の整備、関係機関等との連携体制を構築し、医療的ケア原保育するための体制を整備する。
									地域福祉課	積極的に推 進する		有	への支援	障害児やその家族同士の交流の場を支援	無		
									N/14-14-14-14-14-14-14-14-14-14-14-14-14-1	- Levellana			難病患者への 支援	難病患者が必要なサービスを受けられるよう、障害福祉サービスに関する情報提供			
										計画期間中 に方向性を 検討		無			無		
									こども未来 課	計画期間中 に方向性を 検討		有	就園前までの 個別支援	支援が必要な乳幼児に対して訪問等個別の相談を 実施している	無		

区分	讨	No.	重要事項	No.	施策	Nº	取組	所管課	担	当課における取組の方向性			該当する既存の事業			新規の事業
	No. ライフステージ	IVO.	里女争枳	IVO.	ルル	INE	4人亦且	MEM	計画での	内容	有無	事業名	内容	有無	事業名	内容
1 ライフステー: 事項	ジを通した重要		障害児支援・医 療的ケア児等へ の支援		障害のあるこども・ 若者の自立と社会参 加の促進支援	33	保護者やきょうだいへの支援 の充実	幼児教育課	方向性 積極的に推 進する		有		子育て相談日や随時の相談を通して、子育て家庭 の育児不安等の相談、子育て情報の発信、就学に 向けた相談などに応じ、不安の解消に努める。	無		
								地域福祉課	積極的に推 進する	障害や発達の特性を早期に発見・ 把握については、保護者が障害や 発達に問題があると決めつけてい きなり障害に相談とはならないた め、この部分については、難し い。	有	日中一時支援 事業	障害のある人の日中における活動の場を確保し、 障害のある人の家族の就労支援及び障害のある人 を日常的に介護している家族の一時的な休息を図 る。			
								学校教育課	計画期間中 に方向性を 検討		有	就学相談	関係課と連携し、園や学校、保護者の就学相談に 応じる。(面談・電話相談)	無		
								こども未来課	計画期間中 に方向性を 検討		有	相談支援業務	障がい特性を抱える児童の保護者・兄弟からの相談に応じ、関係機関と連携したサポートを行う。	無		
												発達相談(保護 者向け)	概ね2歳から就学前までの保護者を対象に、保育 士・保健師・心理士による発達相談を実施。			
1 ライフステー: 事項			療的ケア児等へ の支援		障害のあるこども・ 若者の自立と社会参 加の促進支援		学校等におけるインクルーシ ブ教育システムの実現		計画期間中 に方向性を 検討		無			無		
1 ライフステー? 事項	ジを通した重要		児童虐待防止対 策と社会的養護 の推進及びヤン グケアラーへの 支援	1)	児童虐待防止対策等 の更なる強化	35	連携による虐待予防や早期発 見支援	こども未来課	積極的に推進する		有	要保護児童対 策地域協議会 の実施	要保護・要支援児童及び特定妊婦の早期発見、保護及び適切な支援を図ることを目的として、関係機関のネットワークを構築する。	有	こども家庭セ ンターの設置	保健・福祉両分野が連携しながら要 支援・要保護児童の相談支援を行 う。
												子育て短期支 援事業	環境的・経済的事情やレスパイト目的で児童また は母子を一定期間児童福祉施設等で預かり、家庭 の福祉の向上及び虐待の未然防止を図る。			
								地域福祉課	積極的に推 進する		有	主任児童委員 と教育機関と の連携	主任児童委員が学校及び行政と連携し、要支援家庭や要支援児童の見守りを行い、児童・生徒の健やかな育ちを支援している。	無		
1 ライフステージ 事項	ジを通した重要		児童虐待防止対 策と社会的養護 の推進及びヤン グケアラーへの 支援	1)	児童虐待防止対策等 の更なる強化	37	予期せぬ妊娠等に悩む若年妊 婦等への支援	こども未来課	計画期間中 に方向性を 検討		有	妊娠・出産に向けての相談	母子健康手帳の交付時に妊婦に対して個別の健康 相談を行う。また妊娠中期の妊婦に対してアン ケートを実施して妊娠期の心配ごとを把握し相談 に応じる。		こども家庭センターの設置	保健・福祉両分野が連携しながら要 支援・要保護児童及び特定妊婦の相 談支援を行う。
1 ライフステー: 事項	ジを通した重要	(6)	児童虐待防止対 策と社会的養護 の推進及びヤン グケアラーへの 支援	1)	児童虐待防止対策等 の更なる強化	38	こどもの権利を尊重した一時 保護	県		一時保護及び保護中の支援は県事 業	無			無		
1 ライフステー: 事項	ジを通した重要	(6)	児童虐待防止対 策と社会的養護 の推進及びヤン グケアラーへの 支援	1)	児童虐待防止対策等 の更なる強化	39	児童相談所等による意見聴取 の適切な実施(虐待対応)	県等			無			無		
1 ライフステー: 事項	ジを通した重要	(6)	児童虐待防止対 策と社会的養護 の推進及びヤン グケアラーへの 支援	1)	児童虐待防止対策等 の更なる強化	40	親子関係の再構築支援	こども未来課	計画期間中 に方向性を 検討		有		要保護・要支援児童及び特定妊婦の早期発見、保 護及び適切な支援を図ることを目的として、関係 機関のネットワークを構築する。	有	こども家庭セ ンターの設置	保健・福祉両分野が連携しながら要 支援・要保護児童の相談支援を行 う。
1 ライフステー? 事項	ジを通した重要	(6)	児童虐待防止対 策と社会的養護 の推進及びヤン グケアラーへの 支援	1)	児童虐待防止対策等 の更なる強化	41	性被害の被害者等となったこ どもを支援する環境整備	県等			無			無		
1 ライフステー: 事項	ジを通した重要	(6)			児童虐待防止対策等 の更なる強化		「こども家庭ソーシャルワー カー」等の専門資格の取得促 進	県等			無			無		
1 ライフステー: 事項	ジを通した重要		児童虐待防止対 策と社会的養護 の推進及びヤン グケアラーへの 支援	1	社会的養護を必要と するこども・若者に 対する支援		関係機関との連携による要保 護児童・若者への支援体制の 構築	こども未来課	計画期間中 に方向性を 検討		有		要保護・要支援児童及び特定妊婦の早期発見、保 護及び適切な支援を図ることを目的として、関係 機関のネットワークを構築する。			

	区分									胡	当課における取組の方向性			該当する既存の事業			新規の事業
	1	1	No.	重要事項	No.	施策	Nº	取組	所管課	計画での							1
1 ライ	 フステージ	No. ライフステー を通した重要		児童虐待防止対	3)	ヤングケアラーへの	44	ヤングケアラーの早期発見・	こども政策	方向性	内容 地域の現状調査やニーズ把握を中	有無無	事業名	内容	有無 無	事業名	内容
事項				策と社会的養護 の推進及びヤン グケアラーへの 支援		支援		把握と対策の推進	課	に方向性を 検討	心に行い、支援施策の必要性について研究していく。						
									課	積極的に推 進する		有	策地域協議会 の実施	要保護・要支援児童及び特定妊婦の早期発見、保 護及び適切な支援を図ることを目的として、関係 機関のネットワークを構築する。		ンターの設置	保健・福祉両分野が連携しながら要支援・要保護児童(ヤングケアラー含む)の相談支援を行う。
1 ライ 事項	イフステージを	を通した重要	(7)	こども・若者の 自殺対策、犯罪 などからこど も・若者を守る 取組	1)	こども・若者の自殺 対策		自殺対策計画に基づく総合的 取組	健康増進課	積極的に推 進する		有		市内2校の高校3年生に対して、ストレス状態が 長く続くことで起こる自殺の心身の不調に気づ き、悩みを一人で抱えることなく相談することの 大切さを伝える、自殺に対する予防教育を実施し ている。			中学生に対して、SOSの出し方などの 自殺に対する予防教育を実施する。
													相談窓口の啓 発	市内2校の高校3年生に対して、相談窓口のチラシの配布を実施している。 また、ウェブサイトにも相談窓口をまとめた内容 を掲載している。		庁内連携会議	自殺対策関係課や関係機関が自殺対 策に対する共通認識を持ち、それぞ れの実施事業に対する情報共有と自 殺対策推進に対して検討できる連絡 会を開催する。
1 ライ 事項	イフステージを	を通した重要	(7)	こども・若者の 自殺対策、犯罪 などからこど も・若者を守る 取組		こどもが安全に安心 してインターネット を利用できる環境整 備	47	適切に情報を活用できる能力 の習得支援	学校教育課	計画期間中 に方向性を 検討		有	情報モラル教	教育課程への位置付けや計画的な実践・推進を確認するとともに、研修会や講師派遵等を紹介する。	無		
1 ライ 事項	イフステージを	を通した重要	(7)	こども・若者の 自殺対策、犯罪 などからこど も・若者を守る 取組	3)	こども・若者の性犯 罪・性暴力対策	48	性暴力・性犯罪被害者への支 援	学校教育課	積極的に推 進する		有	中学校保健体育(保健分野)	「心身の機能の発達と心の健康」の単元において、異性の尊重、性情報への対処など性に関する適切な態度や行動の選択が必要となることを理解できるよう指導する。			
									危機管理課	計画期間中 に方向性を 検討		有	犯罪被害者等 支援	犯罪被害者等への対応、見舞金の給付、警察及び 関係機関への対応等を行う。 (見舞金:傷病5万円、死亡30万円)	無		
									こども未来課	計画期間中 に方向性を 検討		有		要保護・要支援児童及び特定妊婦の早期発見、保 護及び適切な支援を図ることを目的として、関係 機関のネットワークを構築する。			
1 ライ 事項	イフステージを	を通した重要		こども・若者の 自殺対策、犯罪 などからこど も・若者を守る 取組		犯罪被害、事故、災 害からこどもを守る 環境整備	49	指導・啓発・訓練等による安 全教育の推進	危機管理課	積極的に推 進する		有	交通安全運動	交通指導隊による街頭指導、交通安全協会の実施 する交通教室へ交通指導隊の派遣、交通安全教育 推進モデル小学校の指定	無		
													防犯まちづく り活動	防犯についての啓発活動、防犯灯の設置・管理、 暴力団追放推進			
													防災訓練	防災意識の高揚と防災知識・技能の向上を図るため防災訓練への参加を促す。			
									スポーツ・生涯学習課	計画期間中 に方向性を 検討		有	青少年補導	市内8地区において、青少年の非行・犯罪を未然 に防止し、被害者にも加害者にもさせないため、 補導活動を実施している。	無		
													る相談(ヤン	青少年の悩み事について、本人や家族から電話で 匿名の相談を受け付け、必要に応じて他の相談機 関を情報提供している。			

区分	分		No.	重要事項	No.	施策	Nº	取組	所管課	担	当課における取組の方向性			該当する既存の事業			新規の事業
	No.	ライフステージ	7	±27.7		2011		-0.021	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	計画での 方向性	内容	有無	事業名	内容	有無	事業名	内容
1 ライフステー: 事項	ジを迫	通した重要		こども・若者の 自殺対策、犯罪 などからこど も・若者を守る 取組	5)	非行防止と自立支援	50	関係機関・団体との連携によ る見守り・自立支援	地域福祉課	積極的に推進する		有	保護司、更生 保護女性会の 活動支援		無		
													する運動	すべての国民が犯罪や非行の防止と罪を犯した人 たちの更生について理解を深めることを目的に、 駅や店舗での軽発活動と位報媒体への掲載、横断 幕の設置等を実施する。			
									こども未来 課	計画期間中 に方向性を 検討		有	策地域協議会 の実施	協議会を通じて児童相談所・警察・保護司等、非 行防止・自立支援に携わる関係機関とネットワー クを構築し、早期発見、支援につなげる。			
2 ライフステー ジ別の重要事項	(1)	こどもの 誕生前か ら幼児期 まで		妊娠前から妊娠 期、出産、幼児 期までの切れ目 ない保健・医療 の確保			51	妊娠・出産に関する正しい知 識の普及や相談体制の強化	こども未来課	計画期間中 に方向性を 検討		有		母子健康手帳の交付時に妊婦に対して健康相談を 行う。また妊娠中期の妊婦に対してアンケートを 実施して妊娠期の心配ごとを把握し相談に応じる			
				07114 T.K									不妊治療費の 助成	医療保険適用外の特定不妊治療費または不育症治療費について助成を実施			
2 ライフステー ジ別の重要事項	(1)	こどもの 誕生前か ら幼児期 まで		妊娠前から妊娠 期、出産、幼児 期までの切れ目 ない保健・医療 の確保				出産費用(正常分娩)の保険 適用の導入や安全・安心な無 痛分娩の推進	国			無			無		
2 ライフステー ジ別の重要事項	(1)	こどもの 誕生前か ら幼児期 まで	1)	妊娠前から妊娠 期、出産、幼児 期までの切れ目 ない保健・医療 の確保			53	医療と母子保健との連携強化	こども未来課	計画期間中 に方向性を 検討		有	妊婦の健康管理	妊婦健診16回分の受診券を交付し受診を促す。里 帰り等で委託実施医療機関で妊婦健診を実施でき ない場合は、償還払いで対応している	無		
2 ライフステー ジ別の重要事項	(1)	こどもの 誕生前か ら幼児期 まで	1)	妊娠前から妊娠 期、出産、幼児 期までの切れ目 ない保健・医療			1	産後ケア事業の提供体制の確 保等産前産後の支援の充実と 体制強化	こども未来課	計画期間中 に方向性を 検討		有	の実施	EX77 VARIAGINCI J	無		
													産婦健診の実 施	産婦健診を行い産科医療機関と連携して産後のメ ンタルケアを行う			
2 ライフステー ジ別の重要事項	(1)	こどもの 誕生前か ら幼児期 まで		妊娠前から妊娠 期、出産、幼児 期までの切れ目 ない保健・医療 の確保			55	こども家庭センターにおける 切れ目のない継続的な支援	こども未来課	積極的に推 進する		有	母子包括支援センター	妊娠期から子育て期まで切れ目のない伴走型支援 を行う。	有		保健・福祉両分野が連携しながら要 支援・要保護児童・妊産婦の相談支 援を行う。
													こども家庭総 合支援拠点	支援の必要な児童のあらゆる相談に応じ、関係機 関同士のネットワークを構築する。			
2 ライフステー ジ別の重要事項	(1)	こどもの 誕生前か ら幼児期 まで		妊娠前から妊娠 期、出産、幼児 期までの切れ目 ない保健・医療 の確保			56	予期せぬ妊娠等に悩む若年妊婦等への支援	こども未来課	計画期間中 に方向性を 検討		有	妊娠・出産に 向けての相談	母子健康手帳の交付時に妊婦に対して個別の健康 相談を行う。また妊娠中期の妊婦に対してアシ ケートを実施して妊娠期の心配ごとを把握し相談 に応じる。		こども家庭セ ンターの設置	保健・福祉両分野が連携しながら要 支援・要保護児童及び特定妊婦の相 談支援を行う。
2 ライフステー ジ別の重要事項	(1)	こどもの 誕生前か ら幼児期 まで		妊娠前から妊娠 期、出産、幼児 期までの切れ目 ない保健・医療 の確保			57	乳幼児健診等の推進	こども未来課	計画期間中 に方向性を 検討		有	乳幼児健診の 実施	乳幼児健診の実施を継続する	有	乳幼児健診の 拡充	出生から就学前まで切れ目のない健 診の実施を検討する。
2 ライフステー ジ別の重要事項	(1)	こどもの 誕生前か ら幼児期 まで	1)	妊娠前から妊娠 期、出産、幼児 期までの切れ目 ない保健・医療 の確保			58	新生児マススクリーニング検 査等の推進	国			無			無		
2 ライフステー ジ別の重要事項	(1)	こどもの 誕生前か ら幼児期 まで	-	こどもの誕生前 から幼児期まで のこどもの成長 の保証と遊びの 充実			59	こどもの育ちに係る基本的な ビジョンの共有	国			無			無		

区会	分									担	当課における取組の方向性			該当する既存の事業			到するも・ す 月 (云 磯 川 貝 科
	No	ライフステージ	No.	重要事項	No.	施策	Nº	取組	所管課	計画での	th the	≠ -tm	####	the state of the s	≠ -tm	*************************************	this:
2 ライフステージ別の重要事項	(1)	こどもの 誕生前から幼児期 まで		こどもの誕生前 から幼児期まで のこどもの成長 の保証と遊びの 充実				認定こども園、保育所、幼稚 園、地域子育て支援拠点、病 児保育などでの支援の充実	幼児教育課	方向性 積極的に推 進する	1.11	有	事業名	内容 家庭において保育を受けることが一時的に困難となった乳幼児について、一時的に預かり必要な保育を行う。(一般型・幼稚園型・余裕活用型)	有	事業名 病児・病後児 保育事業	内容 病気の急性期・回復期にある入院治 療の必要としない乳幼児を対象とし た保育事業を実施する民間園に補助 金を交付する。
				76.2										保護者の多様な保育ニーズに合わせ、働きながら 子育てをしやすい体制づくりを継続して進めま す。		誰でもこども 通園制度	子育て世帯の『かかりつけ保育士』 となるべく、0歳6か月から満3歳 未満のこどもを月10時間程度保育す る。今後、法令に規定され、令和8 年度開始予定。
									こども未来 課	積極的に推 進する		有	地域子育て支 援拠点	乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を 開設し、子育てについての相談、情報の提供、助 言その他の援助を行う。	無		
									こども政策課		市内3ヵ所目の地域子育で支援拠点 となる西部子育で支援センターの 整備を推進。 病児保育についてはニーズ分析と 体制整備の可能性について研究を 進める。	有	西部子育て支 援センター設 置準備	令和7年からの運営を委託する民間こども園等を選定し、開設準備を進める。	有	西部子育て支援センター運営委託	令和7年4月より民間こども園へ子育 て支援センター業務を運営委託す る。
									管理課	て位置付け	現在の院内保育所で病児保育を実施することは不可。市の政策の中で選択肢の一つとして湖西病院への併設を検討するのであれば、新病院の建設計画のなかで実施可能か検討することとなる。	有	院内保育所の 運営	看護師等の確保のため3歳未満の子供をもつ病院職員用の院内保育所を運営している。令和6年度からは、民間業者に業務委託し運営している。	有	新病院建設に 係る基本構 想・基本計 画・基本設計 等の策定	院内保育所を含む新病院建設に係る 計画を策定する。
2 ライフステー ジ別の重要事項		こどもの 誕生前か ら幼児期 まで		こどもの誕生前 から幼児期まで のこどもの成長 の保証と遊びの 充実			61	特別な配慮を必要とするこど もを含めた支援	幼児教育課	積極的に推 進する		有	公立園への通 訳者の配置	公立幼稚園・こども園を巡回し、乳幼児の園生活や保護者への通訳 (ポルトガル語) を実施する。	有	医療的ケア児保育	公立こども園1園をモデルに指定 し、施設・備品の整備、関係機関等 との連携体制を構築し、医療的ケア 児を保育するための体制を整備す る。
				702									特別支援教育 推進事業	支援・配慮を必要とする園児が増加しているため、支援員の配置を継続し、園児の障がい特性への支援やパニック時の安全確保への対応・援助を実施する。			
									市民課	積極的に推 進する	外国人市民のこどもの教育環境の 整備	有	プレスクール 事業	未就学児に対するプレスクール事業を実施し、日本語の習得を支援しながら日本の学校生活や文化について学ぶ機会を提供する。			
									幼児教育課	積極的に推 進する		有	教室	言葉の発達、構音などに軽度の遅れのある3~5歳児に通級指導を行い、就学までに障害の軽減を図る。			
													幼児教育相 談・巡回相談	軽度の発達障害等のある園児への具体的な支援の 手立てや保護者との連携の仕方等についてのアド バイスを行う幼児教育相談・巡回相談を実施す る。			
									地域福祉課	計画期間中 に方向性を 検討		無			有	相談・指導体制の整備	①園・学校訪問等により、適正な学習指導を実施 ②一人ひとりに合った進路が選択できるよう、関係機関との連携を強化 と指導の充実
									こども未来課	計画期間中 に方向性を 検討	保育の質の向上		座	公立園の特別支援教育コーディネーターを対象に 育成講座を実施。各園で就学支援に関わる職員と 市内の児童発達支援事業所を対象に就学に係る情 報交換会を実施。			
2 ライフステー ジ別の重要事項		こどもの 誕生前か ら幼児期 まで		こどもの誕生前 から幼児期まで のこどもの成長 の保証と遊びの 充実			62	幼児教育・保育と小学校教育 の円滑な接続	幼児教育課	積極的に推 進する		有	保幼小連絡会 (情報交換 会)	小学校区で年2回(1学期と3学期)連絡会を実施し、当年度と次年度の就学児について共通理解を図ることにより、適切な援助の仕方を共有し、小学校生活をスムーズに送ることができるよう情報交換を行い、行事予定等について調整を行う。			
												有	幼小架け橋ブログラム	保育参観・授業参観を通してこどもの育ちを見取り、「接続期」と「架け橋期」の位置づけを教職 負が理解し、保幼二小の相互に連携窓口を作る。 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」をもと に学びの連続性について教職員が共有する研修会 を開催する。架け橋期の接続計画を小学校区で作 成する。			
									学校教育課	計画期間中 に方向性を 検討		有	ログラム研修	講師を招いて、スタートカリキュラム等の理解を 深める研修会を実施。			
														各小学校区内の園と小学校における園児児童の交流や職員の研修会を実施。	# #		

区分	मे चि		No.	重要事項	No.	施策	Nº	取組	所管課	担	当課における取組の方向性			該当する既存の事業			新規の事業
	No.	ライフステー	7	土メデベ	,10.	no/K		-1×1/II	//I EDA	計画での 方向性	内容	有無	事業名	内容	有無	事業名	内容
2 ライフステー ジ別の重要事項	(1)	こどもの 誕生前か ら幼児期 まで		こどもの誕生前 から幼児期まで のこどもの成長 の保証と遊びの				保育士、保育教諭、幼稚園教 諭等の人材育成・確保・処遇 改善や現場の負担軽減	幼児教育課	積極的に推進する		有	資質向上研修	保育士、保育教諭、幼稚園教諭等の資質向上を図るため、市内公立園・民間園に勤務する職員を対象に研修会を実施する。	無		
													定事業	幼児教育の資質向上を図るため、公立幼稚園・こども園のうち1園を研究指定園とし、研究テーマを通した調査・研究を実施する。			
										積極的に推 進する		有	稚園教諭等の 人材確保	幼稚園教諭・保育教諭の採用試験を実施し、人材 の確保を図る。 	無		
2 ライフステージ別の重要事項	(2)	学童期· 思春期	1)	こどもが安心し て過ごし学ぶこ とのできる質の 高い公教育の再 生等			64	公教育の再生と学校生活の充 実	学校教育課	計画期間中に方向性を検討	既存の取組をさらに充実したもの とするための方策の検討	有	一人ひとりの 教育的ニーズ に応じた支援	・特別支援教育支援員の配置	無		
													学校再編	急激な少子化に対応した教育環境を整えるため、 学校再編をする。			
2 ライフステー ジ別の重要事項	(2)	学童期・ 思春期		こどもが安心し て過ごし学ぶこ とのできる質の 高い公教育の再 生等			65	学校における教育の充実	学校教育課	計画期間中 に方向性を 検討	既存の取組をさらに充実したもの とするための方策の検討	有	こどもが主体 的に学ぶ授業 づくり	・指導方法の工夫改善 ・ICTの活用 ・人権教育、道徳の授業の充実	無		
		8 8 8 8 8 8 8 8 8											特色ある学校 づくり	児童・生徒や地域の実態に応じて重点項目を設定 し、教育活動を実施			
2 ライフステー ジ別の重要事項	(2)	学童期・ 思春期	1)	こどもが安心し て過ごし学ぶこ とのできる質の 高い公教育の再			66	学校における働き方改革や処 遇改善、指導・運営体制の充 実	教育総務課	積極的に推 進する		有	間連絡アプリ の運用	学校から保護者への連絡や保護者から学校への欠 席遅刻連絡をアプリで行えるようにし、学校や保 護者の負担軽減をする。	無		
														学校用グループウェアにより、学校内・学校間の 情報共有の利便性を高める。			
									学校教育課	計画期間中 に方向性を 検討		有		保護者等への素早い情報共有・連絡やペーパーレス化 (印刷業務削減)	無		
														校務支援ツール・校務支援システムによる情報管理・業務改善やデジタル教科書・タブレット端末 を活用した授業や研修の推進			
2 ライフステー ジ別の重要事項	(2)	学童期・ 思春期		こどもが安心し て過ごし学ぶこ とのできる質の 高い公教育の再 生等			67	特別支援教育の充実	学校教育課	計画期間中 に方向性を 検討							
2 ライフステー ジ別の重要事項	(2)	学童期・ 思春期	1)	こどもが安心し て過ごし学ぶこ とのできる質の 高い公教育の再 生等				学校を核とした地域づくりの 推進	学校教育課	計画期間中 に方向性を 検討		有	学校運営協議 会の実施	地域の方々を運営協議会委員に委嘱し、市内全小中学校で、年3回学校運営協議会を実施する。その中で地域と学校が一体となってこともの成長を育むために取り組める活動について話し合う機会を設ける。	無		
2 ライフステー ジ別の重要事項	(2)	学童期・ 思春期	1)	こどもが安心し て過ごし学ぶこ とのできる質の 高い公教育の再 生等			69	地域のスポーツ・文化芸術環 境の整備	学校教育課	積極的に推 進する		有	携・地域移行 推進協議会の 運営	携・地域移行を進めるため、推進協議会を開催。 参加者は、学識経験者、スポーツ協会、文化協 会、地域で活動する民間団体の代表、PIA代表な ど様々で、各々の立場から多面的でかつ建設的に 協議。		の任用	部活動地域連携を進めるため、部活動指導員の任用を目指す。部活動指導員の提供を目指す。部活動指導員は、現存する外部指導者とは異なり、湖西市の会計年度任用職員として任用。顧問の代わりに部活動の 指導序にでなく、大会や練習試合の 引率等が可能となる。
													関係者との面談	部活動顧問、ジュニアスポーツクラブ指導員、地域で活動されている指導員、他市町の部活動以降 担当など、部活動の地域移行に向けた話し合いを 実施。			
									文化観光課		現在学校教育課主管で、湖西市部 活動地域連携・地域移行推進協議 会を開催し、文化観光課、文化協 会が委員として、文化芸術の地域 連携を検討している。	無			有		R6に吹奏楽などの部会に対応可能か 協議を行っていく予定。

Þ	分		No.	重要事項	No.	施策	Nº	取組	所管課	担	当課における取組の方向性			該当する既存の事業			新規の事業
	No.	ライフステー	7	主义于宋	110.	2001		4/111	771604	計画での 方向性	内容	有無	事業名	内容	有無	事業名	内容
2 ライフステ- ジ別の重要事項		学童期・ 思春期	1)	こどもが安心し て過ごし学ぶこ とのできる質の 高い公教育の再 生等			70	「選ばれる在外教育施設」づ くりの推進				無			無		
2 ライフステージ別の重要事項	- (2)	学童期・ 思春期	1)	こどもが安心し て過ごし学ぶこ とのできる質の 高い公教育の再 生等			71	基本的な生活習慣や道徳・モ ラル等の定着	学校教育課	積極的に推 進する		有	習慣を身に着 けるための指 導・支援	各校の生徒指導主任・主事や特別活動主任を中心 に、良好な人間関係作りを図るための教育活動や 規範意識を持たせるための指導を行う。	無		
													進	静岡県教育委員会が主催する道徳教育研修会に、 各校の道徳教育を担当する者が参加し、各校にお ける道徳教育及び道徳科の充実を図る。			
2 ライフステージ別の重要事項	- (2)	学童期・ 思春期	1)	こどもが安心し て過ごし学ぶこ とのできる質の 高い公教育の再 生等			72	学校や地域におけるこどもの 体力の向上のための取組の推 進	学校教育課	積極的に推 進する		有	ための取組	小中学校体育主任者研修会(静岡県教育委員会主催)に、各校の体育・保健体育4主任が参加し、体育・保健体育科主任が参加し、体育・保健体育科主任としての資質向上を図る。また、文部科学省主催の新体力テストに参加する。	無		
													施と健康教育	学校医による健診(内料、歯科、眼科、耳鼻科) や養護教諭による身体測定を行う。また、各中学 校において、学校薬剤師による薬学講座を実施 し、薬物乱用防止教育を行う。			
									スポーツ・ 生涯学習課	積極的に推 進する		有	スポーツ教室やスポーツ大会の開催	市主催の教室及び指定管理者等民間活力も生かして、スポーツ教室を開催している。 NPO法人スポーツ協会と連携し、それぞれの世代や競技者のレベルに合わせた大会を開催している。			
													ジュニアス ポーツクラブ	学校の枠を超えてスポーツに参加できる「ジュニ アスポーツクラブ」を実施している。			
2 ライフステ- ジ別の重要事項	- (2)	学童期・ 思春期	1)	こどもが安心し て過ごし学ぶこ とのできる質の 高い公教育の再 生等			73	家庭、学校、地域等が連携した食育の推進	健康増進課	積極的に推 進する		有	湖西市食育推 進連絡会	市の食育推進計画を推進するための連携、協働体制の強化をはかり、食育推進の輸を広げる事を目的とし、食育推進に関すること、食育事業の普及啓発に関すること、その他目的達成のために必要なことについて情報共有、意見交換等を行ってい	無		
									教育総務課	積極的に推 進する		有	ふるさと給食 の日	○。 月に1回「ふるさと給食の日」を設け地場産物を 積極的に活用し、食材等について献立で案内した り、校内放送や展示物で紹介したりする。	無		
													食育授業の実 施	収穫体験や授業、校内放送等をとおして食育についての理解や関心を高める。			
2 ライフステ- ジ別の重要事項	- (2)	学童期・ 思春期	2)	居場所づくり			74	こども・若者の視点に立った 多様な居場所づくり	こども政策課	積極的に推 進する	どのような種別の居場所にニーズ があるか、また需要と供給のバラ ンスがとれているかなどの調査・ 分析を進め、改善のための調整や 周知を行う。	無				居場所情報の 発信	市内の「居場所」となりうる施設等 の情報を整理し、情報発信を行う。
									図書館	計画期間中 に方向性を 検討		有	閲覧席・学習席の設置	だれもが自由に資料を閲覧したり、調査研究・自 主学習で使用することができる席を設ける。	無		
													ム・ちびっこ 広場	ちいさなお子さん連れでも気軽に来館できるよう、会話できる部屋の開放やおはなし会の開催等で、親子が交流できる場所を提供している。			
									こども未来 課	に方向性を 検討			策地域協議会 の実施	協議会の中で要保護・要支援児童の早期発見・支援方法の検討をする過程で、児童に必要な居場所のニーズを把握し、施策に反映させる。			
									スポーツ・ 生涯学習課	に方向性を 検討		有	子ども会	湖西市子ども会連合会が主体的に活動できるよう 運営等をサポートしている。			
2 ライフステ- ジ別の重要事項	(2)	学童期・ 思春期	2)	居場所づくり			75	放課後児童クラブの受け皿整 備	教育総務課	積極的に推 進する		有	放課後児童ク ラブの開設	昼間保護者等のいない小学校児童に対して、小学 校の空き教室等を生活の場として提供するため、 事業者に委託する。			既存の放課後児童クラブに加え、長期休暇中のみの放課後児童クラブを 開設し、受入枠の拡大・待機児童の 解消を図る。

Z	:分		No.	重要事項	No.	施策	Nº	取組	所管課	担	当課における取組の方向性			該当する既存の事業			新規の事業
	No.	ライフステージ								計画での方向性	内容	有無	事業名	内容	有無	事業名	内容
2 ライフステ- ジ別の重要事項	- (2)	学童期・ 思春期		小児医療体制、 心身の健康等に ついての情報提 供やこころのケ アの充実			76	小児医療体制の充実と連携強 化	地域福祉課	積極的に推 進する		有	訪問事業	保健師、精神保健福祉士等による在宅で生活する 障害児への訪問指導	無		
													自立支援給付	自立支援医療(精神通院医療、育成医療)について情報提供			
													医療費助成	育成医療費、重度障害者(児)医療費、精神障害者 医療費を助成			
									幼児教育課	計画期間中 に方向性を 検討		無			有	保育	公立こども園1園をモデルに指定 し、施設・備品の整備、関係機関等 との連携体制を構築し、医療的ケア 限を保育するための体制を整備す る。
									管理課		令和6年7月現在、常動小児科医は1名体制となっており、特定の専門領域にかか分外来や入院加療を要する小児については、連携する医療機関からの医師派遣や紹介によって対応しているのが現状である。病院として、小児科対応が可能な医師の増員、診療枠の増加などに今後も取り組んでいく必要がある。	有		小児科常勤医師の確保することと、浜松医科大学、浜松医療センターとの連携を強化し、医師派 遺を受けることで、今後も小児科外来診療を維持する。	無		
									医事課	計画期間中 に方向性を 検討	令和6年7月現在、常勤リ児科医は1 名体制となっており、特定の専門 領域にかかる外来や入院加療を要する小児については、連携する医療機関から医師派遣や紹介によって対応しているのが現状である。病院として、小児科対応が可能な医師の増員、診療枠の増加などに今後も取り組んでいく必要がある。	有	に対応する	医療福祉に関する相談員(社会福祉士)を医事課 内に配置し、小児科外来とも連携している。院内 の医師や看護師、及び患者家族からの要望に応じ て相談支援を行い、適宜、必要な社会資源の提示 や関連機関(部署)への情報提供(引継ぎ)を 行っている。	無		
														市内の医療連携体制を強化することで、症状や状況に応じた対応窓口(医療機関)の分業化を図っている。病診連携・入退院支援係を設け、院外の機関との円滑な連携に取り組んでいる。			
									健康増進課	計画期間中 に方向性を 検討			受診できる医療機関の掲示		無		
													静岡県ことも 救急電話相談 の周知	市のウェブサイトに、こどもの急な発熱・怪我等 電話相談ができる「静岡県こども救急電話相談」 について記載。			
									学校教育課	計画期間中 に方向性を 検討		無			無		
									こども未来 課	計画期間中 に方向性を 検討		有	小児医療体制 の充実と連携 強化	幼児健診、予防接種事業等で医師会と連携を図る			

湖西市こども計画 掲載候補事業一覧

令和6年度第2回子ども・子育て会議用資料

区分	र्छ		No.	重要事項	No.	施策	Nº	取組	所管課	担	当課における取組の方向性			該当する既存の事業			新規の事業
		ライフステー	יני							計画での 方向性	内容	有無		内容	有無	事業名	内容
2 ライフステー ジ別の重要事項	(2)	学童期・ 思春期		小児医療体制、 心身の健康等に ついての情報提 供やこころのケ アの充実			77	性と健康に関する教育や普及 啓発・相談支援	学校教育課	積極的に推 進する		有	習慣を身に着	各校の生徒指導主任・主事や特別活動主任を中心 に、良好な人間関係作りを図るための教育活動や 規範意識を持たせるための指導を行う。			
													道徳教育の推 進	静岡県教育委員会が主催する道徳教育研修会に、 各校の道徳教育を担当する者が参加し、各校にお ける道徳教育及び道徳科の充実を図る。			
2 ライフステー ジ別の重要事項	? ライフステー (2) 学童期・ 4 7別の重要事項 思春期・ 4		成年年齢を迎え る前に必要とな る知識に関する 情報提供や教育			78	次世代を担うための教育の推進 進	産業振興課	計画期間中 に方向性を 検討		有	消費者活動推進事業	「はたちの集い」にて啓発チラシを配布	無			
									学校教育課	に方向性を	現在行っている教科指導の内容を 主権者教育ならびに消費者教育の 一層の充実につなげるための手立 てを検討。		(小) 社会科、家庭 科、道徳	学年、発達段階に応じた学習指導	無		
													(中) 社会科公民、 技術・家庭 科、道徳	学年、発達段階に応じた学習指導			
2 ライフステー ジ別の重要事項	(2)	学童期・ 思春期		成年年齢を迎え る前に必要とな る知識に関する 情報提供や教育			79	ライフデザインに関する啓発 や職場体験等の充実	産業振興課	積極的に推 進する		有	モノづくり人 材の育成	企業見学や職場体験、出前授業などを実施	無		
				TISTRICE (SAES					学校教育課	積極的に推 進する	ものづくり推進室等と連携し、 様々な人や仕事(産業)と	有	市内各小中学 校の教育活動 (総合的な学 習の時間等) キャリア教育 の充実	・小学校での地域の産業を知る体験活動 ・中学校での職場体験、職業講話	無		
2 ライフステー ジ別の重要事項	(2)	学童期・ 思春期		成年年齢を迎え る前に必要とな る知識に関する 情報提供や教育			80	高校等における労働関係法令 の教育の支援	県等			無			無		
2 ライフステー ジ別の重要事項	(2)	学童期・ 思春期	4)	成年年齢を迎え る前に必要とな る知識に関する 情報提供や教育			81	社会保障教育の推進	県		中学校社会科(公民)で社会保障 制度について学習するが、社会保 障教育は高校生を対象としてい る。	無			無		

区分	分		No.	重要事項	No.	施策	Nº	取組	所管課	担	当課における取組の方向性			該当する既存の事業			新規の事業
	No.	ライフステーシ	;	-AT'A				*IA/III		計画での 方向性	内容	有無	事業名	内容	有無	事業名	内容
2 ライフステー ジ別の重要事項	(2)	学童期· 思春期	5)	いじめ防止			82	いじめ防止対策の強化	学校教育課				絡協議会 生徒指導研修 会 児童生徒の問 題行動等の調	いじめ連絡対策協議会では、各小中学校の生徒指導主任・主事、ことも未来課長、ことも政策課長、湖西市PTA小中学校PIA連絡会長等が、いじめに関する各校の状況や取組について協議する。 生徒指導研修会では、市内の教員を対象に、学識経験者による講義や未然防止や早期発見、早期対応について協議するケーススタディを行う。 静岡県教育委員会による調査を通じて、毎月、各校のいじめ発生代数や内容、解判状況等を把握し、必要に応じて指導、対策を行う。			
									こども政策課	積極的に推 進する		無			有		対面相談の他、電話やメール、 チャットなど複数の相談窓口を開設 し、SOSが出しやすい環境を作り、早期発見、早期支援に繋げる。
																談員	選任の会計年度任用職員の他、担当職員が民間資格のいじめ専門相談員の資格を取得し、法とエビデンスに基づいた介入支援が行える体制を整備する。 地域でこどもに接することが多い大
																リーダー養成 講座	地域でことでに接りることが多い人 人、支援者に対し、いじめに関する 正しい知識やいじめを見たり聞いたりしたときの正しい功成方法につい て知っていただくことにより、いじ めの予防や早期解決が可能な安全安 心な地域社会をつくる。
																いじめ防止啓 発講座	地域において、いじめについて正し い知識を持つ市民を増やす。
																	学校、教育委員会、児童相談所、法 務局又は地方法務局、県警その他の 関係者等、いじめの防止等に関係す る機関及び団体の連携を図る。
																心とからだの 健康観察	各学校で実施している健康観察をデジタル化し、1人1台端末を使用して 児童生徒が自ら入力することで、本 人の申し出や報告がなっても、心と 体の健康状態からいじめ被害やその 他のリスクを発しやすくなり、支 援し繋げやすくする。
2 ライフステー ジ別の重要事項	(2)	学童期・ 思春期	5)	いじめ防止			83	いじめ重大事態の調査・分析	国			無			無		
2 ライフステー ジ別の重要事項	(2)	学童期・ 思春期		不登校の子供へ の支援				教育支援センターの設置促 進・機能強化	学校教育課	積極的に推 進する			ンジ教室 (湖西市不登 校児童生徒適	西部地域センター内に開設し、3名の指導員による不登校児童生徒及びその傾向のある児童生徒に 応じた指導や、保護者を含めた相談活動をとおして、集団への適応力を育み、自立への支援を行 う。			
2 ライフステー ジ別の重要事項	(2)	学童期・ 思春期		不登校の子供へ の支援				専門家等との連携やICTの 活用による支援体制整備	学校教育課	積極的に推 進する			ンセラー・ス クールソー シャルワー カーとの連携	対象児童生徒をカウンセリングや医療につなげる ことで、不登校傾向を改善する。また、主に養育 や家庭環境の問題に起因する不登校については、 スクールソーシャルワーカーを通じて、関係機関 との連携を図る。			
													ル等との連携	静岡県教育委員会が主催する「公的教育機関と民間施設等の連携協議会」に登録したフリースクールと情報共有を行い、不登校児童生徒の社会的自立を促す取組や支援を行う。			
									教育総務課	積極的に推 進する				児童生徒が家庭学習を行ったり悩みごとを相談できるICT基盤として、1人1台端末を整備する。			
2 ライフステー ジ別の重要事項		思春期		校則の見直し				生徒指導の研究・理解促進と こどもの見直し過程参画		進する			協議会への参加	静岡県教育委員会が主催する「生徒指導研究協議会」に各校の生徒指導主任・主事が参加し、生徒 指導提要について理解を深める。そして、各校に おいて、生徒が学校行事や校則の見直しに参画で きる支援を行う。			
2 ライフステー ジ別の重要事項		忠春期		体罰や不適切な 指導の防止				職員研修の実施と教育委員会 による指導・助言の推進		積極的に推 進する			修	各校で体罰等の不適切な指導がないよう定期的に 職員研修を実施。 学校訪問で市教育委員会から指導・助言。	無		
2 ライフステー ジ別の重要事項	(2)	学童期・ 思春期	l'i	高校中退の予 防、高校中退後 の支援			88	高校中退後の就労支援や復 学・就学のための取組の充実	県			無			無		
		:															

区分	分		No.	重要事項	No.	施策	Nº	取組	所管課	担	当課における取組の方向性			該当する既存の事業			新規の事業	
	No.	ライフステー		主女于久	140.	JIBAR		4人作旦	771604	計画での	内容	有無	事業名	内容	有無	事業名	内容	
2 ライフステー ジ別の重要事項			1)	高等教育への支 援			89	高等教育段階の修学支援	こども政策課	方向性 計画期間中 に方向性を 検討	大学以上の高等教育に関する支援 の必要性について研究する。	無			無			
2 ライフステー ジ別の重要事項	(3)	青年期	1)	高等教育の修学 支援、高等教育 の充実			90	高等教育の充実	国、県			無			無			
2 ライフステー ジ別の重要事項	(3)	青年期	2)	就労支援、雇用 と経済的基盤の 安定のための取 組			91	若者への職業能力育成支援や 就職支援	産業振興課	計画期間中 に方向性を 検討		有		国と共同で湖西市地域職業相談室を設置し、求人 情報の提供や紹介業務を実施。				
													若年者就労支 援事業	就労を希望する若年者、若年者の周囲にいる家族 等を対象に就労支援セミナー、個別相談会を実 施。				
2 ライフステー ジ別の重要事項	(3)	青年期	2)	就労支援、雇用 と経済的基盤の 安定のための取 組			92	経済・雇用に不安のない地方 創生に向けた取組の推進	国			無			無			
2 ライフステー ジ別の重要事項	(3)	青年期	2)	就労支援、雇用 と経済的基盤の 安定のための取 組			93	「賃上げ」への取組	国			無			無			
2 ライフステー ジ別の重要事項	(3)	青年期	2)	就労支援、雇用 と経済的基盤の 安定のための取 組			94	三位一体の労働市場改革の加 速化	国			無			無			
2 ライフステー ジ別の重要事項	(3)	青年期	2)	就労支援、雇用 と経済的基盤の 安定のための取 組			95	「同一労働同一賃金」の徹底 と必要な制度見直しの検討	围			無			無			
2 ライフステー ジ別の重要事項	(3)	青年期	2)	就労支援、雇用 と経済的基盤の 安定のための取 組			96	「年収の壁(106万円/130万 円)」の解消	国			無			無			
2 ライフステー ジ別の重要事項	(3)	青年期	3)	結婚を希望する 方への支援、結 婚に伴う新生活 への支援			97	出会いの機会・場の創出や、 結婚に伴う新生活のスタート アップへの支援	企画政策課	積極的に推 進する		有	婚活支援事業	国内最大級の恋活・婚活マッチングアプリ「ペアーズ」と連携、業務委託により、オンラインセミナーなどを通じて結婚を希望する独身男女の出逢いの機会を創出する。				
													さい」へおい でん新生活応 援金	若い世代の本市への移住定住を促進し、職住近接 により将来にわたり豊かなライフスタイルを提案 するため、婚姻を機に市外から転入する夫婦に対 し、応援金10万円を交付する。				
2 ライフステー ジ別の重要事項	(3)	青年期	4)	凶みや不安を抱 える若者やその 家族に対する相 炎体制の充実				98	悩みや不安を抱える若者等へ の支援やこころの健康づくり	学校教育課	積極的に推 進する		有	教育相談や進 路面談	各小中学校において、教育相談や進路面談(中学 3年生)を実施し、児童生徒の不安や悩みの解消 を図る。また、静岡県教育委員会が実施する電話 相談の周知を図る。			
													クールソー シャルワー	県費で配置されているスクールカウンセラーを児 童生徒や保護者に周知し、相談しやすい環境を整 備する。また、関係機関からの支援や連携が必要 な家庭については、スクールソーシャルワーカー が関われるように働きかける。				
									地域福祉課	積極的に推 進する		有	アセスメント 力向上研修	職員のアセスメント力向上のための研修を開催			ひきこもりで支援が必要な人を把握 するための調査を実施	
													ひきこもり相談	ひきこもり状態にある当事者及びその家族等に対し、相談を実施し自立に必要な方策を提案する。		体制整備	アウトリーチ型の支援体制の整備	
									課	に方向性を 検討	こども・若者支援地域協議会の設置について検討する。				無			
										計画期間中 に方向性を 検討		有	る相談	青少年の悩み事について、本人や家族から電話で 匿名の相談を受け付け、必要に応じて他の相談機 関を情報提供している。	無			

区分	No.	重要事項	No.	施策	Nº	取組	所管課	担	当課における取組の方向性			該当する既存の事業			新規の事業
No. ライフステージ								計画での 方向性	内容	有無	事業名	内容	有無	事業名	内容
3 子育て当事者への支援に関する重要事項		子育てや教育に 関する経済的負 担の軽減		子育て世帯への経済 的支援の充実	99	保育・教育の経済的負担軽減	幼児教育課	積極的に推 進する		有	第2子以降の 保育料無償化	多子世帯の経済的負担の軽減を図るため、18歳に 到する日以後の最初の3月31日までの間にある児 童のうち、第2子以降に係る保育料を無償化す る。	İII .		
							教育総務課	積極的に推 進する		有	豊田佐吉翁記 念奨学金	将来の湖西市を支える人材育成を目的に、経済的 理由によって修学が困難な人を支援する給付型の 奨学金です。高等学校、工業高等専門学校1-3 年:月額5,000円、工業高等専門学校4-5年、大 学、大学院(修士課程):月額12,000円	M		
											学資金貸付	経済的な理由で修学が困難な生徒や学生に奨学金 を無利息で貸し付けます。高校生・工業高等専門 学校生など:月額15,000円以内、大学生など:月 額50,000円以内			
											護者負担軽減 事業	令和6年10月1日以降の市立中学校の学校給食費に おける保護者負担を軽減(無償化)する。			
							こども政策課		実施中の各種経済支援策を着実に推進する。	有	自立支援教育訓練給付金	一定条件を満たしたひとり親が雇用保険制度の教 育訓練給付の指定講座を受講する場合に給付金を 支給する。	 		
											高等職業訓練 促進給付金	一定条件を満たしたひとり親が資格取得のための 養成機関に修業する場合に給付金を支給する。			
										児童手当	児童を養育している者に手当を支給することにより、家庭等における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健やかな成長に資する。				
							こども医療費助成	こどもの疾病の早期発見と適正な治療を受けさせることを促進するため、保険診療分の自己負担額を助成する。							
								児童扶養手当	ひとり親家庭の生活の安定と自立の促進、児童の 心身の健やかな成長を図るために、一定の要件に 当てはまる人に手当を支給する。						
												ひとり親家庭の経済的負担の軽減を目的として、 保険診療分の自己負担額を助成する。			
											修学支援事業 費助成金	ひとり親家庭のうち、一定要件を満たす人が購入するランドセルの費用を申請に基づいて助成する。			
											祉手当	交通事故によって遺児などになった児童等の健全な育成と福祉の増進を図るため、遺児等を扶養している人に手当を支給する。			
											金	母子家庭のこどもが高校等に通学している世帯に 奨学金を支給し、経済的負担の軽減を図る。			
	(1)										費用支援金	第3子以降の子が対象の中学・高校等に入学する際の修学費用を支援する。			
3 子育て当事者への支援に関する重要事項		関する経済的負 担の軽減		子育て世帯への経済 的支援の充実						有	助成制度	こどもの疾病の早期発見と適正な治療を受けさせることを促進するため、保険診療分の自己負担額を助成する。	村	討	こども医療費受給者証の機能をマイナンバーカードに付加するPMHの導入について検討を進める。
3 子育て当事者への支援に関する重要事項		地域子育て支 援、家庭教育支 援		相談や支援の充実	101	在宅子育て家庭への支援・啓 発	こども未来 課	計画期間中 に方向性を 検討		有	の情報配信	子育て中の市民が、いつでもどこでもスマホなどまで予防接種や健診の勧奨通知や、子育て教室の日時、子育て代位立つ情報などのお知らせを受け取れるよう、LINEによるプッシュ通知を実施。	#		
											向けての相談	母子健康手帳の交付時に父親の育児参加に向けて パンフレットを配布し育児について相談助言を実 施。妊娠期パパママ講座では、講話と実技を通し て育児についての情報を伝達している。			
											にむけての情 報提供	乳児全戸訪問や乳幼児の成長にあわせた教室等で 情報を提供している。			
											産後の健康管理	乳児全戸訪問で育児環境を把握し助言等を行う			

	区分 No. 重要事項		重要事項	No.	施策	Nº	取組	所管課	担	当課における取組の方向性			該当する既存の事業			新規の事業	
	No. ライコ	フステージ								計画での 方向性	内容	有無	事業名	内容	有無	事業名	内容
3 子育て当 る重要事項	事者への支援に	関す		地域子育で支援、家庭教育支援		相談や支援の充実	102	こどもの一時預かりに関する 取組の推進		積極的に推 進する		有	一時預かり事 業	家庭において保育を受けることが一時的に困難となった乳幼児について、一時的に預かり必要な保育を行う。(一般型・幼稚園型・余裕活用型)			
									こども未来課	計画期間中 に方向性を 検討		有	ファミリー・ サポート・セ ンターの充実	子育てを助けてほしい人 (委託会員) と子育てを 助けてくれる人 (受託会員) による会員同士の相 互援助事業が充実するように会員の研修等を実施 する。			
													一時預かり	保育の必要な理由は問わず、1歳~就学前の子どもを一時的に預かって保育する。			
3 子育て当 る重要事項	: 子育て当事者への支援に関す (重要事項	(2)	地域子育て支 援、家庭教育支 援		相談や支援の充実	103	保護者に寄り添う家庭教育支援の推進	課	に方向性を 検討	保護者が学ぶ場の提供	有	プログラム	3歳から就学前までの保護者を対象としたペアレント・プログラムを実施。				
								スポーツ・生涯学習課	計画期間中 に方向性を 検討		有	ふたば学級	2歳児をもつ保護者とその子どもが一緒に遊ぶ中で、子育ての楽しさを味わったり、親子ともに話し合える友達作りをしたりする。				
													親子ふれあい 講座	小学校1~3年生の子をもつ保護者が学習したり、親子のふれあい活動をしたりすることで、つながりの大切さを家庭に定着させる。			
子育て当事者への支援に関す 重要事項	関す		共働き・共育で の推進、男性の 家事・子育てへ の主体的な参画 促進・拡大		仕事と子育ての両立 支援	104	共働き・共育ての推進	市民課	積極的に推 進する	家事・育児・介護への共同参画の 促進	有	男性の家庭生 活などへの参 画を促す広 報・啓発	男性の家庭生活や育児、介護などへの参画を重視 した広報・啓発を行う。	無			
									産業振興課	積極的に推 進する		有	支援事業	働く場所や時間に制約がある方の働く選択肢を増 やすことを目的に、在宅ワークのスキルアップセ ミナーを開催し、在宅ワーカーに必要な基礎的知 識やスキルの習得機会を提供する。			
													「えるぼし認 定」、「くる みん認定」の 取得促進	市ウェブサイトにて認定企業の紹介、事業者向け LINEにて制度紹介を実施。			
									こども未来課	計画期間中 に方向性を 検討		有	妊娠・出産に 向けての相談	母子健康手帳の交付時に父親の育児参加に向けて パンフレットを配布し育児について相談助言を実 施。また妊娠中期の妊婦に対してアンケートによ り心配ごとを把握したり、妊娠期パパママ講座で オムツ替え等の育児体験を実施している。			
													産後の健康管 理	乳児全戸訪問で育児環境を把握し助言等を行う			
									こども政策 課	計画期間中 に方向性を 検討	課として何ができるか、何をすべ きなのかを検討する。	無			無		
									市民課	方向性として位置付け	第4次湖西市男女共同参画推進計画 において、育児・介護休業制度の 広報・啓発担当課は、産業振興課 と位置付けています。	無			無		
3 子育て当 5重要事項	事者への支援に	関す		ひとり親家庭へ の支援		ひとり親家庭の困難 解消支援	106	経済的自立の実現とこどもに 届く支援の推進	こども政策課	積極的に推 進する	従来から実施している、就労及び こどもの預かり等に関連するひと り親家庭支援の取組を着実に推進 する。	有	自立支援教育訓練給付金	ー定条件を満たしたひとり親が雇用保険制度の教育訓練給付の指定講座を受講する場合に給付金を 支給する。	無		
													高等職業訓練 促進給付金	一定条件を満たしたひとり親が資格取得のための 養成機関に修業する場合に給付金を支給する。			
													日常生活支援 事業	湖西市内に住所を有する母子家庭、父子家庭及び 寡婦であって、口常生活において子育て支援若し くは生活援助を行う者を得ることが困難な世帯文 はこどもに対する生活・学習支援を希望する世帯 に対して子育て支援又は生活援助、こどもの生 活・学習支援を行う。			
														ひとり親及び寡婦の福祉のために活動する湖西市 ひとり親・寡婦福祉会の活動に対して補助を行 う。			
3 子育て当 る重要事項	事者への支援に	関す		ひとり親家庭へ の支援		ひとり親家庭の困難 解消支援	108	当事者のニーズに即した相談 支援体制の強化	こども政策課	計画期間中 に方向性を 検討	プッシュ型による相談支援の対象をどのように把握するのか、研究を進める。 ひとり親家庭へのワンストップ相談支援体制は整っており、維持・拡充に努める。	有	ひとり親家庭 支援ワンス トップ窓口	こども政策課がひとり親家庭支援の各種メニューの申請窓口であり、各種相談にも対応する。	無		